



高円宮杯 2012ホッケー日本リーグ【女子】第3節 第1日

開催日時 6月2日(土) 会場 日光市ホッケー場 天候 晴れ

【全試合結果】

第1試合 10:00	山梨学院CROWNING GLORIES 1	$\begin{pmatrix} 1 & - & 0 \\ 0 & - & 1 \end{pmatrix}$	1	南都銀行
第2試合 11:40	ソニーHC BRAVIA Ladies 7	$\begin{pmatrix} 4 & - & 0 \\ 3 & - & 1 \end{pmatrix}$	1	天理大学ベアーズ
第3試合 13:20	東海学院大学 1	$\begin{pmatrix} 0 & - & 5 \\ 1 & - & 3 \end{pmatrix}$	8	コカ・コーラウエストレッドスパークス
第4試合 15:00	グラクソ・スミスクライン 4	$\begin{pmatrix} 2 & - & 1 \\ 2 & - & 1 \end{pmatrix}$	2	立命館大学ホリーズ

【各試合の結果・詳細】

第1試合

山梨学院CROWNING GLORIES 1 $\begin{pmatrix} 1 & -0 \\ 0 & -1 \end{pmatrix}$ 1 南都銀行

勝点 5
1 勝 2 分 2 敗

勝点 8
2 勝 2 分 1 敗

＜得点＞

山梨学院 : 19分伴田

南都銀行 : 55分東

<戦評>

山梨学院CROWNING GLORIESのパスバックで始まった。立ち上がりから南都銀行がパスをつなぎ攻勢に進めるが山梨学院の堅い守りにより得点できない。19分山梨学院は、カウンターからPCを得るとFB#1伴田が左下にシュートを決め先制。1点を追い南都も反撃するが山梨学院の堅い守りに阻まれ1-0で前半が終了。

後半に入っても攻守の切り替えの早い展開が続く。55分南都銀行は、カウンターから#8為藤のパスを受けたFW#5東が鮮やかにシュートを決め同点とした。その後は、互いに攻め込むものの決め手を欠き同点のまま試合終了。

テクニカルオフィサー	浅野 久雄	アンパイア	根岸 郁美
ジャッジ	野澤 光代		鈴木 茂明

第2試合

ソニーHC BRAVIA Ladies 7 $\begin{pmatrix} 4 & -0 \\ 3 & -1 \end{pmatrix}$ 1 天理大学ベアーズ

4 勝 1 分 0 勝点 13 敗

勝点 1
0 勝 1 分 4 敗

<得点>

SONY : 2分村上、14分徳島、28分金、30分村上、40分藤尾、68分石田、70分村上

天理大学 53分遠藤

<戦評>

立ち上がりから試合は動いた。開始直後の2分、ソニーHC BRAVAI Ladies FB#4村上が右上に決め先制した。続く、14分にもFW#7徳島がPCからタッチシュートを右下に決め、追加点をあげる。

ゲームを支配したSONYは、28分にPCのタッチシュートでFW#9金が、30分にはFB#4村上がPCから左上に決め、大きくリードして前半を終了した。

後半に入ってもSONYは40分、相手パスのインターセプトからFW#12藤尾が押し込み、リードを広げた。反撃したい天理大学ベアーズは53分、PCからFW#10遠藤がタッチシュートを右下に決め、1点を返したが、すでに遅く、終了間際の68分には、SONYがカウンターからFW#23石田、更に70分にもPCからFB#4村上のシュートを許し、7-1の大差でSONYが勝利した。

テクニカルオフィサー	越湖 隆一	アンパイア	野澤 茂
ジャッジ	君島 恵美		野澤 達

第3試合

東海学院大学 1 $\begin{pmatrix} 0 & -5 \\ 1 & -3 \end{pmatrix}$ 8 コカ・コーラウエストレッドスパークス

勝点 9
3 勝 0 分 2 敗

勝点 15
5 勝 0 分 0 敗

<得点>

東海学院 : 69分佐々木

CCWR : 1分金、3分新井、5分駒澤、11分小野、13分小野、48分新井、56分川端、67分新井

<戦評>

コカ・コーラウエストレッドスパークスは、立ち上がりからパスとスピードでゲームを支配する。CCWRは1分、カウンターからFW#16金のドリブルシュートで先制すると、3分にはFW#9新井がPCから、5分にもMF#11駒澤がPCのタッチシュートで追加点をあげた。攻撃の手を緩めないCCWRは11分、13分にDF#8小野がいずれもPCからシュートを決め、5-0で前半を折り返した。

後半に入ってもCCWRペースで試合は進み、48分FW#9新井がPCで、56分FW#15川端、67分FW#9新井がいずれもフィールドゴールを決め、大差をつけた。東海学院大学は、終了間際69分にPCからFB#6佐々木がゴール左下にクリーンシュートを決め一矢を報いるのがやっとであった。

テクニカルオフィサー	浅野 久雄	アンパイア	鈴木 茂明
ジャッジ	野澤 光代		相馬 知恵子

第4試合

グラクソ・スミスクライン 4 $\begin{pmatrix} 2 & -1 \\ 2 & -1 \end{pmatrix}$ 2 立命館大学ホリーズ

勝点 6
2 勝 0 分 3 敗

勝点 0
0 勝 0 分 5 敗

<得点>

グラクソ : 7分阿久津、25分若柳、37分川崎、56分若柳

立命館大 : 33分畑野、44分中山

<戦評>

地元開催で勝点を増やしたいグラクソ・スミスクラインは、立ち上がりからペースをつかみ、優位に試合を進める。7分、MF#17阿久津がPCの混戦から押し込み、先取点を挙げた。25分にもMF#10若柳が右からのセンターリングを合わせ、2-0とした。反撃を試みる立命館大学ホリーズも33分、MF#12畑野が右から切り込み、リバースシュートを決め、2-1として前半を折り返した。

後半に入っても攻撃に出るグラクソは37分、PCからFB#3川崎がシュートを決め、3-1とした。立命館大も少ないチャンスから44分、PCを得るとFW#5中山がタッチシュートを決め、食い下がる。50分には立命館大が決定的シュートチャンスをつかむが、グラクソGK大家のファインセーブで追いつくことが出来ない。逆に、グラクソは56分、MF#10若柳がPCからシュートを決め突き離し、4-2としてゲームを終えた。

テクニカルオフィサー	越湖 隆一	アンパイア	山田 恵美
ジャッジ	君島 恵美		我妻 順子